

8.15 エコマテリアル

8.15.1 調査事項

調査事項は、表 8.15-1 に示すとおりである。

表 8.15-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品調達方針
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、適用品目を利用するよう努める計画としている。 ・基礎底盤に高炉セメントを採用する他、建物の内外部に積極的に木材を使用し、選定する木材は、森林認証を得た森林から調達を行う計画としている。 ・今後、開発・実用化される素材についても、積極的な利用に努める計画としている。 ・大会組織委員会が調達する木材を対象とした「持続可能性に配慮した木材の調達基準」が策定され、都や国等が当該基準を尊重するよう働きかけを受けていることから、その趣旨に基づく木材の調達に可能な限り努める計画としている。 ・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画・利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用計画・利用促進計画実績書にて記録・保存を行う計画としている。 ・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。

8.15.2 調査地域

調査地域は、計画地内とした。

8.15.3 調査手法

調査手法は、表 8.15-2 に示すとおりである。

表 8.15-2 調査手法

	調査事項	エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
	調査時点	工事の施工中（2016年12月～2019年11月）とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	工事中の適宜とした。
	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	調査する事項	計画地内とした。
	調査条件の状況	計画地内とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地内とした。
調査手法	調査する事項	関連資料の整理による方法とした。
	調査条件の状況	関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	関連資料の整理による方法とした。

8.15.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件

ア. エコマテリアルの利用状況等

本事業における、エコマテリアルの利用状況は、表 8.15-3 に示すとおりである。

建設工事に当たっては、「平成 28 年度環境物品等の調達の推進を図るための方針」等に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。特定調達品目の使用率は 100%であった。

表 8.15-3 エコマテリアルの利用状況（特定調達品目）

品目分類	品目名	単位	数量		使用率 (%)
			特定調達 品目	類似品	
アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物	t	3,043	0	100
路盤材	再生骨材等	m ³	140,787	0	100
小径丸太	間伐材	m ³	28	0	100
混合セメント	生コンクリート（高炉）	m ³	84,714	0	100
舗装材	再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）	m ²	21,125	0	100
園芸資材	パークたい肥	kg	60,000	0	100
道路照明	LED 道路照明	台	22	0	100
タイル	陶磁器質タイル	m ²	1,292	0	100
製材等	製材	m ³	182	0	100
	集成材	m ³	1,214	0	100
	合板	m ²	4,520	0	100
	単板積層材	m ³	2	0	100
再生木質ボード	木質系セメント板	m ²	38,979	0	100
ビニル系床材	ビニル系床材	m ²	3,974	0	100
断熱材	断熱材	工事数	1	0	100
照明機器	照明制御システム	工事数	1	0	100
変圧器	変圧器	台	165	0	100
空調用機器	吸収冷温水機	台	2	0	100
	送風機	台	262	0	100
	ポンプ	台	20	0	100
衛生器具	自動水栓	工事数	1	0	100
	自動洗浄装置及びその組み込み小便器	工事数	1	0	100
	洋風便器	工事数	1	0	100
コンクリート用型枠	合板型枠	工事数	1	0	100
建設機械	排出ガス対策型建設機械	工事数	1	0	100
	低騒音型建設機械	工事数	1	0	100

注) 表中の使用率 (%) は、特定調達品目量 ÷ (特定調達品目量 + 類似品量) × 100 の値を示す。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.15-4 に示すとおりである。

なお、エコマテリアルに関する苦情は工事終了までになかった。

表 8.15-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 建設資材についてエコマテリアルの適用品目があるものについては、適用品目を利用するよう努める計画としている。 	<p>工事の実施に当たっては、「平成28年度環境物品等の調達を推進を図るための方針」（文部科学省）における特定調達品目に掲げられている建設資材を可能な限り調達した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 基礎底盤に高炉セメントを採用する他、建物の内外部に積極的に木材を使用し、選定する木材は、森林認証を得た森林から調達を行う計画としている。 	<p>基礎底盤コンクリートには、高炉セメントを採用した。また、建築物の大屋根の鉄骨と集成材を組み合わせたトラス部材及び建物外周にある軒庇の縦格子には、森林認証を得た木材を調達した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 今後、開発・実用化される素材についても、積極的な利用に努める計画としている。 	<p>今後、開発・実用化される素材についても、積極的な利用に努めたが、新たな物品はなかった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 大会組織委員会が調達する木材を対象とした「持続可能性に配慮した木材の調達基準」が策定され、都や国等が当該基準を尊重するよう働きかけを受けていることから、その趣旨に基づく木材の調達に可能な限り努める計画としている。 	<p>木材については、建物の屋根トラスや軒庇等には森林認証材を用いた他、「環境物品等の調達の推進を図るための指針」等に基づき、特定調達品目として間伐材、製材、集成材や合板等を、コンクリート用型枠として合板型枠を100%使用した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画・利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用計画・利用促進計画実績書にて記録・保存を行う計画としている。 	<p>工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。 	<p>エコマテリアルの使用状況をフォローアップで確認し、使用率が100%であることを確認した。</p>

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. エコマテリアルの利用状況等

建設工事に当たっては、「環境物品等の調達の推進を図るための方針」等に基づき、建設資材等の環境物品等（再生加熱アスファルト混合物、再生骨材等）の調達や環境影響物品等の使用抑制を図ることにより、エコマテリアルの利用が図られた。

以上のことから、予測結果と同様に、エコマテリアルの利用への取組・貢献は図られていると考える。